

まとめ

47

分析のまとめ

- 重度の異常行動は、平均10歳、男性が多く、タミフルの服用は6割であった。
- 10代での異常行動と10歳未満での異常行動との比率は、3月20日の通知前後で有意な差はなかった。
- 通知後は、タミフル処方相当程度減少したと思われるが、10代での異常行動が有意に減少したとは言えなかった。
- 異常行動の内容が突然の走り出し・飛び降りのみ限定しても結果は変わらなかった。
- 「異常行動と睡眠の関係」は、タミフル服用の有無で差はなかった。

48

研究の限界と課題

- 本調査は後ろ向き調査で行われたので、バイアスが生じている可能性がある。
- タミフルの処方率が正確にはわからないので、異常行動の発症率の推定、タミフル服用の有無別の比較は難しい。
- 2007/2008シーズンの前向き調査が既に始まっている。

49

謝辞

- 調査に御協力頂いた全国医療機関に深謝申し上げます
- また、関係各所にご連絡頂いた都道府県、日本医師会、国立大学附属病院長会議、独立行政法人国立病院機構、全国公私病院連盟、全国自治体病院協議会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本私立医科大学協会、日本精神科病院協会、日本病院会、日本療養病床協会、独立行政法人労働者健康福祉機構に感謝申し上げます

50

インフルエンザ罹患に伴う 異常行動研究:追加報告

2007年12月25日

【2006/2007シーズン（9月30日まで報告）
：重度のみ】

厚生労働科学特別研究事業
「インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動
情報収集に関する研究」主任研究者
国立感染症研究所 岡部信彦

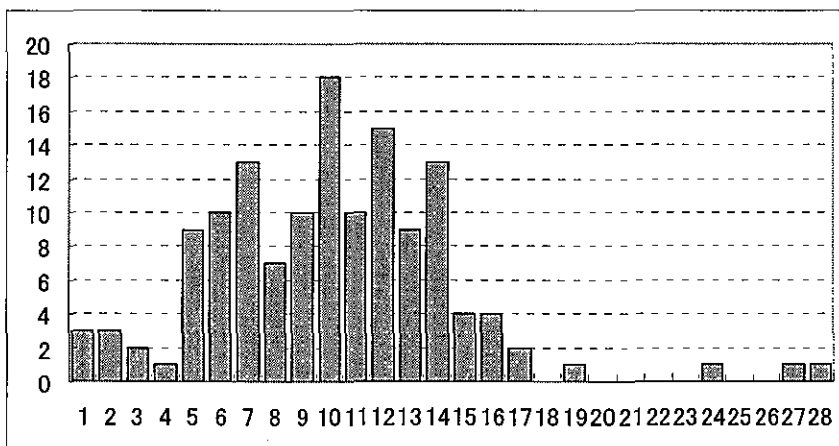
1

12/16臨床WGで頂いたコメント

- タミフルの服用の有無別の年齢分布
- タミフルの服用の有無別のアセトアミノフェンの服用率
- 男女別のタミフルの服用率
- 通知前後における異常行動の発症率（タミフル服用の有無を問わず）の違い

タミフルの服用の有無別の 年齢分布

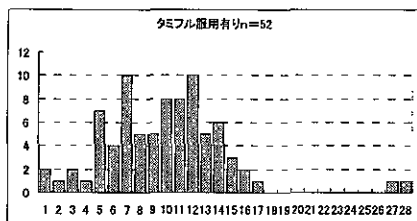
図1. 患者の年齢n=137



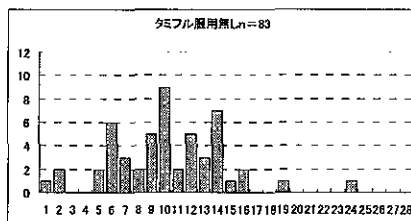
平均値10.11
中央値10

タミフル（リン酸オセルタミビル）服用の有無と年齢n=125（全標本）

*タミフル服用の不明を除く



平均値10.23
中央値10

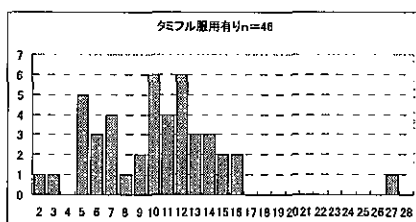


平均値9.92
中央値10

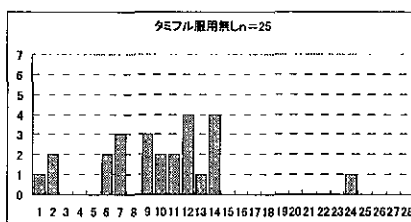
平均年齢はタミフル服用の有無で差がない

タミフル（リン酸オセルタミビル）服用の有無と年齢n=71（突然走り出す・飛び降りのみ）

*タミフル服用の不明を除く



平均値10.23
中央値10



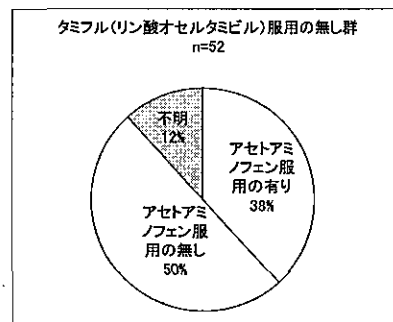
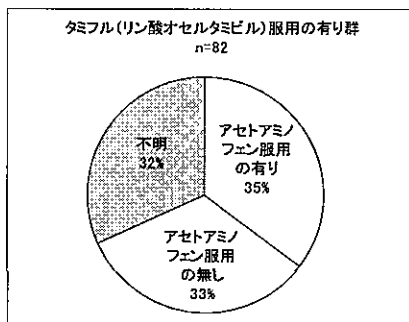
平均値9.92
中央値10

平均年齢はタミフル服用の有無で差がない

タミフルの服用の有無別の のアセトアミノフェンの服用率

アセトアミノフェン服用の有無とタミフル（リン酸オセルタミビル）服用の有無n=134（全標本）

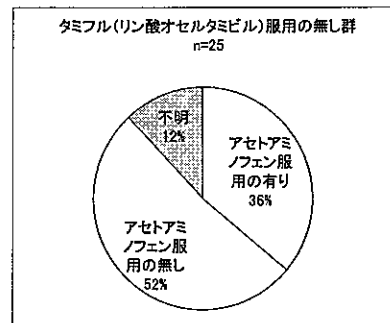
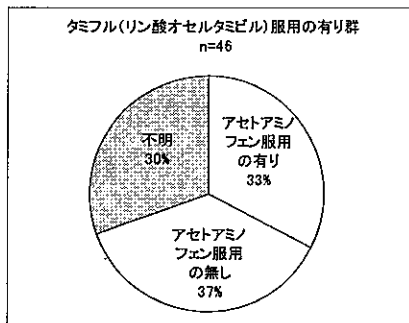
*タミフル服用の不明を除く



アセトアミノフェンの服用率は両群でほぼ同じ

アセトアミノフェン服用の有無とタミフル（リン酸オセルタミビル）服用の有無n=71（突然走り出す・飛び降りのみ）

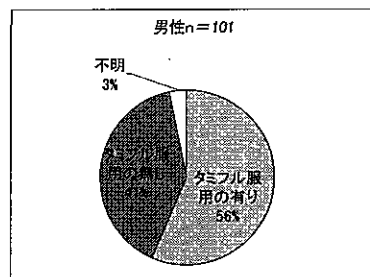
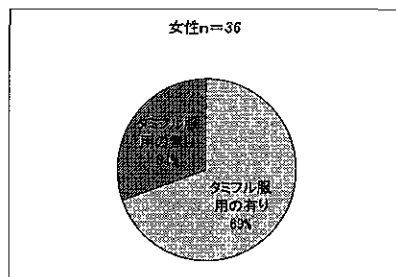
*タミフル服用の不明を除く



アセトアミノフェンの服用率は両群でほぼ同じ

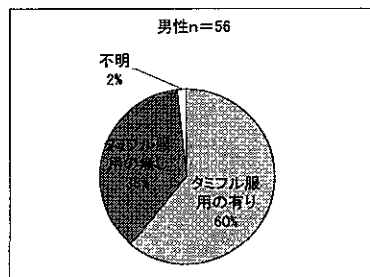
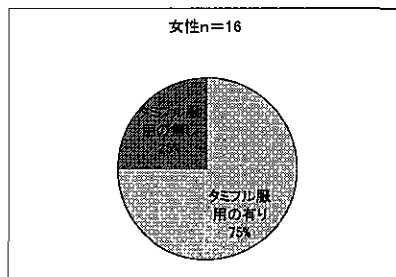
男女別のタミフルの服用率

タミフル（リン酸オセルタミビル）服用の有無と性別n=137（全標本）



タミフル服用の性別の有意差はない

タミフル（リン酸オセルタミビル）服用の有無と性別n=72（突然走り出す・飛び降りのみ）



タミフル服用の性別の有意差はない

通知前後における異常行動の発症率（タミフル服用の有無を問わず）の違い

全標本 (137例の異常行動例/年齢別インフルエンザ患者 総数推定値)			飛び降り・突然の走り出しのみ (72例の異常行動例/年齢別インフルエンザ患者 総数推定値)		
	通知前の発症率 /通知後の 発症率	95%信頼区間		通知前の発症率 /通知後の 発症率	95%信頼区間
20歳未満	1.532	[1.037 , 2.801]	20歳未満	2.632	[1.406 , 4.925]
10歳未満	1.585	[0.897 , 2.801]	10歳未満	2.648	[1.078 , 6.503]
10代	1.344	[0.785 , 2.300]	10代	2.371	[0.987 , 5.697]
0-4歳	2.846	[0.591 , 13.700]	0-4歳	2.033	[0.394 , 10.478]
5-9歳	1.340	[0.726 , 2.475]	5-9歳	2.827	[0.957 , 8.353]
10-14歳	1.233	[0.696 , 2.186]	10-14歳	1.944	[0.800 , 4.722]
15-19歳	1.937	[0.402 , 9.326]	15-19歳	分析不能	

10代、あるいは10歳未満では通知の前後で発症率は変わらない
ただし、20歳未満全体を対象とすると通知前の発症率が通知後の発症率より有意に高い
この傾向は、異常行動を飛び降り・突然の走り出しに限定しても同じ